

公益財団法人 国際科学振興財団 活動の紹介

- ・研究所体制と研究代表者
- ・財団の概要
- ・財団の主な歩み

平成29年

研究所体制と研究代表者

(公財)国際科学振興財団



バイオ研究所
(村上和雄所長) 筑波大名誉教授



情報環境研究所
(大橋力所長) 元文科省
メディア教育開発センター教授



農芸化学研究所
(古川尚道所長) 筑波大名誉教授



シーラカンス研究所
(岡田典弘所長) 東工大名誉教授



再生医工学バイオマテリアル研究所
(赤池敏宏所長) 東工大名誉教授



バイオエコ技術開発研究所
(稲森悠平所長) 元環境研部長・福島大教授



時間生物学研究所
(石田直理雄所長) 元産総研上席研究員

財団の研究プロジェクト(抜粋)

1. 概要

社会的 중요度が高いと認められる研究開発テーマ及び複数の学問的領域にまたがる学際的テーマを対象として、高度かつ非収益的な研究開発を実施し、学術及び科学技術の振興を図る事業。平成28年度は47件が実施された。

2. 内容

平成28年度における分野ごとの研究テーマ数は次の通り。なお、研究テーマ一覧における分類は研究員(チーム)ごとに行っており、複数のテーマが含まれている場合がある。

- ・社会科学分野:5テーマ
- ・物質科学分野:5テーマ
- ・情報科学分野:7テーマ
- ・生命科学分野:27テーマ
- ・環境科学分野:3テーマ

<社会科学> (5グループ・5テーマ)

(1)ハイパーソニック・エフェクトの研究

財団主席研究員 大橋 力
財団主幹研究員 河合 徳枝
財団研究員 大村 六花

(2)総合コミュニケーション科学を基盤とする創造的人材育成システムに関する研究

財団特任主席研究員 梶谷 誠

(3)超高輝度X線発生装置製品化のための基礎研究

財団特任主席研究員 坂部 知平
財団特任研究員 坂部 貴和子

(4)新たな心理テストの開発ー産業人の心理ストレスの把握ー

とよさと病院付属筑波社会精神医学研究
佐藤 親次

<物質科学> (5グループ・5テーマ)

(1)新規有機硫黄化合物の合成研究

財団主席研究員 赤坂 健

(2)環境工学に係わる形状記憶材料の基礎と応用に関する研究ー優れたダンピング材料を求めてー

財団特任研究員 大塚 和弘

(3)有機合成、有機分解反応における炭素ーヘテロ原子結合の導入とその反応に関する研究

財団主席研究員 古川 尚道
財団主席研究員 赤坂 健

(4)メタマテリアルを用いた薄型電波吸収体の研究

防衛大学校准教授 道下 尚文

(5)形状記憶合金の開発と基礎研究

財団主席研究員 宮崎 修一

<情報科学> (3グループ・7テーマ)

(1)-①移動通信用アンテナの研究

-②電磁メタマテリアルによる電波反射特性の改善研究

防衛大学校准教授 道下 尚文

(2)-①小型アンテナおよび車載アンテナに関する研究

-②高誘電率材料を用いたマルチバンドアンテナの小型化に関する基礎研究

-③将来レーダに関する広帯域小型アンテナの研究

-④電磁波散乱現象評価のための測定と計算

防衛大学校教授 森下 久

(3)21世紀型顧客ニーズ瞬時製品化対応新生産方式の研究開発

東北大学特任教授 白井 泰雪
財団研究員 仁平 繁通

<生命科学> (23グループ・27テーマ)

(1)-①細胞認識機能を有するバイオマテリアルの設計とその医学・薬学への応用

-②炭酸アパタイトの機能性・安全性・安定性に関する研究

財団主席研究員 赤池 敏宏
財団主幹研究員 後藤 光昭
財団研究員 関 禎子

(2)Gタンパク質の作用機構と疾患ーGタンパク質共役受容体の新しい制御ー

聖マリアンナ医科大学医学部教授
飯利 太郎

(3)-①時間分子細胞生物学研究

-②時間分子細胞生物学研究ー小動物定点監視装置「AutoCircaS」の開発ー

財団主席研究員 石田 直理雄
財団研究員 川崎 陽久

(4)外科学に関する研究ー低侵襲手術の開発と教育ー

東京慈恵会医科大学外科学講座統括責任者
大木 隆生

(5)大進化の分子機構

財団主席研究員 岡田 典弘
財団研究員 津久井 隆裕

(6)受精のしくみに関する研究ー動物・植物を通じた受精の本質の概念的認識ー

大阪大学微生物病研究所招聘研究員
岡部 勝

(7)ネフローゼ状態で浮腫を合併した心不全患者に対する利尿薬の効果に関する臨床研究

阿部クリニック院長 海津 嘉蔵

財団の概要

- 1977年:土光敏夫経団連会長が設立
- 公益目的事業
 - * 研究開発並びに学術会議等の主催・共催事業
- 7つの研究所(専任、特任、兼任で90名の研究員)
- 会長:大竹美喜(アフラック創業者)
- 基本財産:300,000,000円
- 直近(平成28)年度 決算概要(円)
 - * 経常費用:
269,720,709
 - * 正味財産期末残高:
1,123,053,134

• 定款抜粋

(目的)

第3条 この法人は、産業の発展と国民生活の向上に資するための研究開発及び国際交流等を実施するとともに、その促進を図り、もって学術文化及び科学技術の振興に貢献することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1)社会科学に関する研究開発
 - (2)物質科学に関する研究開発
 - (3)情報科学に関する研究開発
 - (4)生命科学に関する研究開発
 - (5)環境科学に関する研究開発
 - (6)前各号に掲げる研究開発に係る国際交流及び研究への助成
 - (7)高度人材育成事業
 - (8)研究施設貸与事業
 - (9)その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業については、本邦及び海外において行うものとする。

財団の主な歩み(1)

- 昭和52年(1977)9月20日設立
初代会長:土光敏夫[経団連会長]
- 昭和53年(1978)9月 試験研究法人許可
- 昭和56年(1981)3月 特定公益増進法人指定
- 昭和57年(1982)6月
第2代会長:稲山嘉寛[経団連会長]
- 昭和60年(1985)3月
『科学大辞典』刊行(丸善)
国際科学技術博覧会開催(博覧会協会長:土光敏夫)
- 昭和62年(1987)10月
第3代会長:吉山博吉[経団連副会長]
- 平成10年(1998)6月
第4代会長:中西真彦[東京商工会議所副会頭]

財団の主な歩み(2)

- 平成11年(1999)3月
環境対応/省エネ型半導体製造研究Project発足(産・学協働)
研究代表者の大見忠弘教授が「第1回産学協働/内閣総理大臣賞」受賞
- 平成12年(2000)4月
イネ遺伝子の解読Project発足(政府ミレニアムプロジェクト)
国家事業として位置付けられアメリカはじめ他国に先駆けて解読に成功
- 平成13年(2001)9月
第5代会長(現):大竹美喜[経済同友会幹事]
「次世代を担う高校生未来塾」発足
- 平成15年(2003)4月
放射光利用蛋白質結晶構造解析Project発足
(産・学・官協働=KEK、大学、製薬9社)
- 平成17年(2005)4月
『科学大辞典』第2版刊行(丸善)
- 平成19年(2007)4月
つくばWAN運用開始

財団の主な歩み(3)

- 平成20年(2008)4月
特例民法法人移行
- 平成23年(2011)8月
内閣府より公益財団法人認定
- 平成25年(2013)
大竹会長:内閣「教育再生実行会議」委員就任
- 平成26年(2014)
6研究所体制スタート(28年には7研究所)
マカオ大学15名のサイエンス交流実施(JST委託事業)
- 平成27年(2015)
1月内閣府検査(問題点無し)
トルクメニスタン科学アカデミー研究者13名のトレーニング実施
- 平成28年(2016)
3月つくばWAN、SINET(国立情報学研究所)に移行
- 平成29年(2017)
7月内閣府より公益財団法人の再認定
(「学術会議開催、研究開発実施」を公益目的事業とする)

FAIS Location



住所: つくば市春日3-24-16

TEL: 029-860-3333

URL: www.fais.or.jp